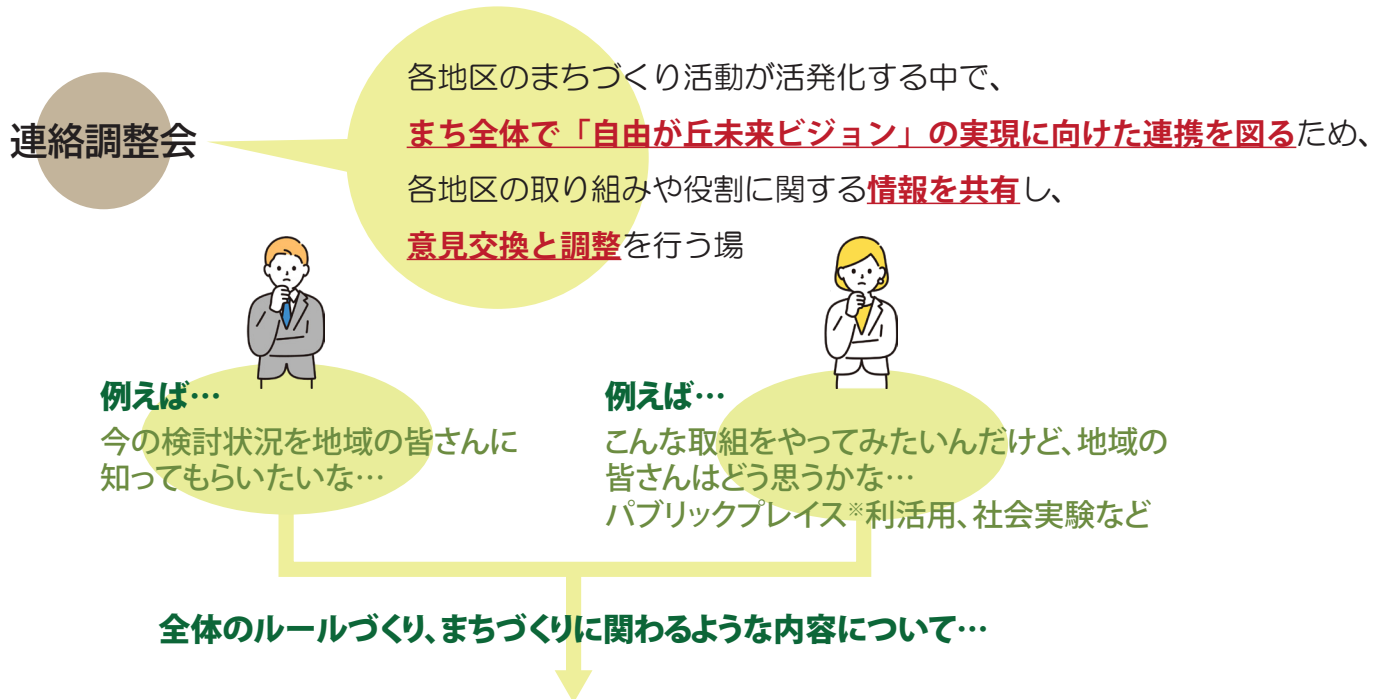


本会議の位置づけ及び昨年度の振り返りについて

資料 1

1. エリアプラットフォーム連絡調整会の位置づけ



- エリアプラットフォーム構成員の皆様による、活動状況の共有・各種事業や取組の調整
- すでに具体的な検討を進めている取組について、検討状況の共有・意見交換
 （例えば、駐車場地域ルールの検討状況など）

※公共空間（道路、駅前広場等）と、公共的空間（再開発事業や任意の共同化・個別建替え等によって整備される歩行者空間・広場等）を併せて、「パブリックスペース」とします。

2. 昨年度（令和5年度）の振り返り

- 令和4年度に「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立し、「自由が丘未来ビジョン」を策定したことから、昨年度（令和5年度）は、「自由が丘エリアプラットフォーム連絡調整会」と名称を改め、「自由が丘未来ビジョン」における各種取組の実現・実行に向けて、2回の会議（12月・2月）を開催しました。
- 主に議論の対象としたのは、以下の2点についてです。

① 未来ビジョンのまちづくり目標を実現するための取組について

- 取組に対する費用面のバックアップとしての都市再生整備計画のご紹介
- 各団体による取組内容のアンケートを実施 →資料2 参照

② 〈楽歩地区〉における歩行者空間の拡充について

- 「自由が丘パブリックスペース管理運営ガイドライン」のイメージの共有
- 上記「自由が丘パブリックスペース管理運営ガイドライン」策定に向けた駅前広場活用の試行（えきまえプラス第2弾：自由が丘写すわーるの開催） →資料3 参照